

令和5年度
北海道高等学校PTA連合会「高校生と語るつどい」事業
実施報告書

令和5年10月18日

北海道高等学校PTA連合会 会長 様

北海道高等学校PTA連合会 空知支部
支部長 雨池 工盛
(当番校名 北海道岩見沢西高等学校)

本事業が、令和5年10月14日完了したので、次のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1 事業実施概要

- (1) 期 日 令和5年10月14日(土曜日)10時から
令和5年10月14日(土曜日)12時まで
- (2) 会 場 北海道岩見沢西高等学校 多目的室
- (3) 実施形態
・ ワールドカフェ方式 ←従来方式

(4) 参加者等

- ア 参加学校 8校
(校名：夕張、岩見沢東、岩見沢西、岩見沢農業、岩見沢緑陵、美唄尚栄、栗山、月形)
- イ 参加者総数 名

| 生徒数 | 引率数 | 保護者数 | 運営者数 | その他 | 合計 |
|-----|-----|------|------|-----|-----|
| 17名 | 2名 | 15名 | 2名 | 名 | 36名 |

(5) 事業内容

- ア 事業の概要 ワールドカフェ方式による、高校生と保護者、教員との自由な対話から、コミュニケーション能力や社会人としての資質を高める。
- イ 講師 NEONE代表 馬場 航平 氏
- ウ テーマ 「高校生のホンネ、大人のホンネ」

2 事業実施による成果

多くの参加者から「会話を楽しめた」「参加してよかった」「新しい考え方に出会えた」「子どもの本音に触れることができた」と感想があり、目的を達成できた。

3 今後の課題等

参加してみると「参加してよかった」という感想をいただけるが、参加を決めるまでハードルが高いようで、参加者を募るのに苦労した。

<記入上の留意事項>

- 「1(5) 内容」には、活動の内容を具体的に記載すること。
- 「2 事業実施による成果」には、当該事業により生徒・保護者・学校・地域・家庭等への期待される効果等について、詳細に記載すること。
- 「3 今後の課題等」には、来年度以降の実施にあたり、検討すべき課題等があれば具体的に記載すること。
- 本報告書には、開催要項・参加者名簿・写真等を添付すること。